

将軍と大名との主従関係、および旗本・御家人の知行形態について、誤解するおそれのある表現である。

大名と旗本・御家人 将軍の家来である武士は、1万石以上の領地をあたえられた大名と、1万石未満の領地をあたえられ、将軍と直接、主従関係を結んだ旗本・御家人とに分けられた。

意見番号45に関連した修正

(表現を適切にするため、修正内容にあわせて79頁1-2行についても直します。)

大名のとりしまり 旗本は将軍にお目見えでき、御家人はできなかった。大名は、徳川氏との関係によって、一族

大名と旗本・御家人 将軍の家臣で、1万石以上の領地をあたえられた武士を大名といい、その数は260前後であった。また、将軍直属の武士である旗本と御家人には、家禄として領地や米があたえられた。旗本は将軍に直接お目見えできたが、御家人はできなかった。

大名のとりしまり 領地をあたえられた大名は、将軍に忠誠をちかった。大名は、徳川氏との関係によって、一族